

ニュージーランド・スクール体験&ホームステイ



ネイランドカレッジの生徒と楽しいひと時

プログラム参加費 238,000円

旅行代金 194,000円

期間 2017年3月26日(日)～4月5日(水)
* 出発日の前日は、事前研修会です

対象・定員 中学校1年生～高校3年生
10名(最少催行5名)

場所 南島ネルソン市

協力 ネイランド・カレッジ(中高一貫校)

利用航空会社 キャセイパシフィック航空(国際線)/
ニュージーランド航空(国内線)

*プログラム参加費・旅行代金の詳細は『研修概要』の項目をご参照ください

プログラム(予定)

| | | |
|----------|----|-------------------|
| 3/25 (土) | 夕刻 | 事前研修会 |
| 3/26 (日) | 午前 | 成田空港出発(香港乗継) |
| 3/27 (月) | 昼 | オークランド空港到着 |
| | 午後 | オークランド空港出発 |
| | 午後 | ネルソン空港到着 |
| | 夕方 | ホストファミリーとマッチング |
| 3/28 (火) | 終日 | 学校体験 |
| 3/29 (水) | 午前 | 学校体験 |
| | 午後 | 牧場体験&BBQ |
| 3/30 (木) | 終日 | 学校体験 |
| 3/31 (金) | 終日 | タスマン国立公園見学 |
| 4/1 (土) | 終日 | ホストファミリーと過ごす |
| 4/2 (日) | 終日 | ホストファミリーと過ごす |
| 4/3 (月) | 終日 | 学校体験 |
| | 夜 | さよならパーティー(日本文化紹介) |
| 4/4 (火) | 朝 | ホストファミリーとお別れ |
| | 朝 | ネルソン空港出発 |
| | 午前 | オークランド空港到着 |
| | 昼 | オークランド空港出発(香港経由) |
| 4/5 (水) | 朝 | 成田空港到着、通関後解散 |

*日本文化紹介は、学校訪問で行います。
*天候等によりスケジュールが変更になる可能性があります。



タスマン国立公園は、自然がいっぱい！ハイ、ポーズ！

特色

- ホームステイは1家庭に1名または2名
- ネルソン郊外でのホームステイ
- 学校体験(ネイランド・カレッジ)
- 文化交流会(日本文化紹介)
- 地域見学(国立公園・牧場体験)

現地情報

気候 : 秋の始まりで、爽やかな季節です。朝晩は涼しいので、長袖が必要です。

気温 : 最高気温 20℃ 最低気温 10℃ (3・4月)

時差 : 日本が1時間遅れています。

現地通貨 : ニュージーランドドル



授業風景



さよならパーティー



牧場体験（羊の毛刈り見学）



明るいホストファミリー

体験記

千葉県 高1 女子

今回の研修で、自分の人生観はガラリと変わった。自分の意思をはっきりさせること。また、それを伝えることは生きる上で非常に重要なスキルだと実感した。また、無知の恐ろしさも知った。このようなことは海外に行ったことのある誰しもが感じるだろうし、私もそれを何度もなく人から聞かされていて、わかったつもりでいた。しかし、人から聞くだけでは絶対にわからない、体験から感じ取ることができた。それはなぜかと考えると、自分が実際に恥をかき、恥ずかしいと思った、という点に違いがあるのだろう。ルビーという4歳の女の子と遊んでいたところ、“どうしてたくさんの国の中からニュージーランドに来たの？”“この国で何が一番楽しかった？”“あなたの国ではどんな食べ物人気なの？”等等質問攻めにされてしまった。質問をしてくれるということは、私に興味を持ってしてくれる証拠でもあるし、とても可愛らしかったので非常に嬉しく、最高に幸せだった。しかし内心、焦りに焦った。なれない英語を使わなくてはいけないし、どうせなら面白い回答をしてあげたかった。また、自分の意思や考えをしっかりと伝えないと、この子はきっと納得してくれないだろう、という気がした。この子は、上辺だけで質問をしているのではなく、ほんとうに知りたいという気持ちで、私に質問をしているのだな、と確信した。今まで私は、この子のような目をして、だれかに問かけた事があっただろうか。少なくとも、ここ最近ではなかったような気がしてならない。こんな小さな子ができることを私ができていないと考えると、非常に恥ずかしかった。また、納得する答えをしてあげられなかったことが無念だった。たった4歳とはいえ、彼女は立派な大人だった。私は、彼女から学ぶべき点がたくさんあるように感じる。

体験記

静岡県 高2 男子

とにかく期待でいっぱいだった。初めての海外ということもあって落ち着いていられなくなった。着陸間近、眼下に広がる海の色を見て、ここがニュージーランドだと実感した。ネイランド・カレッジはびっくり箱のようだった。みんなラフな服装で、髪の色も目の色もさまざま、どうみても十代には見えない大男から、まだおさない顔立ちの子まで色々な人がいた。校舎もカラフルで、学校とは思えない。しかもグラウンドはとにかく広く全面芝生。そこで日に当たりながらランチを食べている生徒達を見て少しうらやましく思った。学校の見学も終り、いよいよホストファミリーと会う時がやってきた。イアン、メアリー、クリス、ジェームス、キャサリンのマッカーイーファミリーは、とても温かく迎えてくれた。どれほど言っても足りないくらい楽しく充実した時間を過ごすことができた。帰り道、カフェに寄ってジュースを飲みながらいろいろ話した。夕日に照らされたその光景を見ていると映画の1シーンにいるような感覚をおぼえた。土曜はみんなで山に登った。大変だったが頂上で見た光景は、飛行機のそれと違い体で感じる事ができ、なお感動した。日曜は朝から家族みんなでピクニックに行った。畑、牧場、森、海、ニュージーランドの自然の中でドライブするのが1つの目標だったので、それができてとても満足した。月曜からが学校へ通い、授業を受けた。ニュージーランドの文化をいろいろおそわることができたのでとても楽しかった。放課後は、クリスとジェームスと一緒にトランポリンやキャッチボール、サッカーなどをして遊んだ。最終日の朝、ホストファミリーのみんなに別れのあいさつをした。お別れだと思うと、さみしかった。そして今、飛行機でこの感想文を書いている。最後に、このホームステイにかかわった全ての人に、そしてなによりマッカーイー一家に、ありがとう！